

*Flebo*

FNX0610

一括設定リファレンスマニュアル

---

第 2 版

2007 年 4 月

株式会社フジクラ

# 目次

はじめに .....	3
1 . 一括設定機能とは? .....	3
2 . 一括設定機能の使い方 .....	4
2.1. 設定ファイルの作成方法 .....	4
2.2. 一括設定の手順 .....	5
3 . 設定ファイルの構造 .....	7
4 . 一括設定時のエラー出力について .....	9
5 . コンフィグ項目一覧 .....	11
IP1 .....	12
GATEWAY .....	12
PPPOE_USERNAME .....	12
PPPOE_PASSWORD .....	12
PPPOE_OWN_MEMBERID .....	12
PPPOE_MEMBER_ALIAS** .....	13
PPPOE_MEMBER_IPADDRESS** .....	13
RMT_CFG**_ACCEPT .....	13
PPPOE_MEMBER_ENABLE** .....	14
SNMP_SET_ENABLE .....	14
SNMP_RWCOMMUNITY .....	14
SNMP_GET_ENABLE .....	14
SNMP_ROCOMMUNITY .....	15
SNMP_TRAP*_ENABLE .....	15
SNMP_TRAP*_COMMUNITY .....	15
SNMP_TRAP*_IPADDRESS .....	16
SNMP_SYSCONTACT .....	16
SNMP_SYSNAME .....	16
SNMP_SYSLOCATION .....	16
SNMP_COLDSTART_ENABLE .....	16
SNMP_WARMSTART_ENABLE .....	17
SNMP_LINKUP_WAN_ENABLE .....	17
SNMP_LINKUP_LAN_ENABLE .....	17
SNMP_LINKUP_ADMIN_ENABLE .....	17
SNMP_LINKDOWN_WAN_ENABLE .....	17
SNMP_LINKDOWN_LAN_ENABLE .....	18
SNMP_PPPOEESTABLISH_ENABLE .....	18
SNMP_PPPOEFAIL_ENABLE .....	18
SNMP_EQUIPMENTFAIL_ENABLE .....	18
SNMP_VPNESTABLISH_ENABLE .....	18
SNMP_VPNFAIL_ENABLE .....	19
SNMP_REMOTE_LINKUP_LAN_ENABLE .....	19
SNMP_REMOTE_LINKUP_ADMIN_ENABLE .....	19
SNMP_REMOTE_LINKDOWN_LAN_ENABLE .....	19
SNMP_REMOTE_LINKDOWN_ADMIN_ENABLE .....	19
SNMP_REMOTE_EQUIPMENTFAIL_ENABLE .....	20
WAN_MODE .....	20

LAN1_MODE	20
LAN2_MODE	20
LAN3_MODE	21
LAN4_MODE	21
ADMIN_MODE	21
WAN_MDI	21
LAN1_MDI	22
LAN2_MDI	22
LAN3_MDI	22
LAN4_MDI	22
ADMIN_MDI	22
OWN_VPN_ID	23
PRI_UNTAG	23
PRI_BACKGROUND	23
PRI_SPARE	23
PRI_BESTEFFORT	24
PRI_EXCELLENTEFFORT	24
PRI_CONTROLLEDLOAD	24
PRI_VIDEO	24
PRI_VOICE	25
PRI_NETWORKCONTROL	25
WAN_BANDWIDTH	25
KEEP_ALIVE_TIME	25
SELECT_MTU	26
LOOP_DETECT_ENABLE	26
DMZ_IP	26
DMZ_NETMASK	26
DMZ_GATEWAY	26
PASSWORD	27
PASSWORD_2	27
<b>コンフィグ項目 索引 (アルファベット順)</b>	<b>28</b>

## はじめに

本書では、管理用 GUI からテキストファイルを読み込んで装置の設定を行なう「一括設定」機能について解説します。

このマニュアルは、FNX0610 システムバージョン V1.1.0 以降について説明したものです。それ以前のシステムバージョンでは一括設定機能はご使用になれません。

### 1. 一括設定機能とは？

一括設定機能とは、FNX0610 の各種設定を記述したテキストファイルをあらかじめ用意しておき、それを GUI 画面から読み込ませることで、装置内の全ての設定項目について一度に値を設定することができる機能です。

これにより、GUI により 1 項目ごと設定を変えていく方法に加え、全てのコンフィグ項目を一度に変える事が可能になり、設置時の設定作業が短時間で可能になります。

また、全設定記録で PC 上に保存した設定ファイルをそのまま読み込むことができますので、あらかじめ保存しておいた設定ファイルを使い、全く同じ設定を別の装置に移植することができます。

また、設定ファイルはテキストフォーマットなので、簡単にカスタマイズができます。装置ごとに設定が異なる項目(例えば自拠点 ID、PPPoE のユーザ ID 等)だけをテキストエディタで編集し(\*1)、一括設定機能で装置に設定することで、複数の機器の初期設定を簡単に行なうことができます。

\*1 設定項目の内、Web へログインするためのパスワードについては暗号化されているため編集できません。詳しくは 5 項コンフィグ項目の password、password\_2 の項を参照してください。

## 2. 一括設定機能の使い方

### 2.1. 設定ファイルの作成方法

一括設定で読み込ませるファイルは全設定記録で保存されるファイルと同一形式になっています。初めに実際の装置を用い、GUI 設定画面から「管理者設定」 - 「全設定記録」を行い、設定ファイルを PC 上に保存します。このファイルを一括設定用の設定ファイルの雛形としてご使用いただくことができます。

設定ファイルの作成手順

The screenshot shows the configuration interface with the following elements:

- 管理者設定 (Administrator Settings):** A menu on the left containing options like 'VPN ID設定', '優先制御設定', '帯域制御設定', 'VPN監視設定', 'MTU設定', 'ループ検出設定', 'パスワード変更', '管理ポートIPアドレス', '初期化', '全設定記録', '一括設定', '画像ダウンロード', and 'ファームアップデート'.
- 全設定記録 (Full Configuration Record):** A section on the right showing a list of configuration items (e.g., '設定ファイル', 'IF1=', 'GATEWAY=', 'PPPOE\_USERNAME=', etc.) and a 'ファイルへ保存' (Save to File) button.

Annotations in the image:

- An arrow points from the label '管理者設定' to the '管理者設定' menu.
- An arrow points from the label 'ファイルへ保存' to the 'ファイルへ保存' button.
- An arrow points from the label '全設定記録' to the configuration list area.

上記の手順で作成した設定ファイルは、テキスト形式になっていますので、メモ帳などテキストエディタを使って内容を確認したり、編集したりすることができます。

設定ファイルを編集する場合は、本マニュアルをよく読み、内容を充分ご理解いただいた上で変更してください。

また一括設定で読み込みできるファイル名には以下の制限があります。

下記条件以外のファイル名に変更しますと、読み込み時にエラーとなりますのでご注意ください。

- ・ 設定ファイル名の先頭は、config\_all でなければなりません。
- ・ 設定ファイルの拡張子は .dat または .txt でなければなりません。

例) config\_all\_Flebo-No01.dat

また設定ファイルの漢字コードは Shift-JIS フォーマットでなければなりません。

全設定記録で保存したファイルは、この Shift-JIS フォーマットになっています。これ以外のフォーマットを使用した場合、拠点名称等で漢字等が使われている場合に、正しく読み込みができませんのでご注意ください。

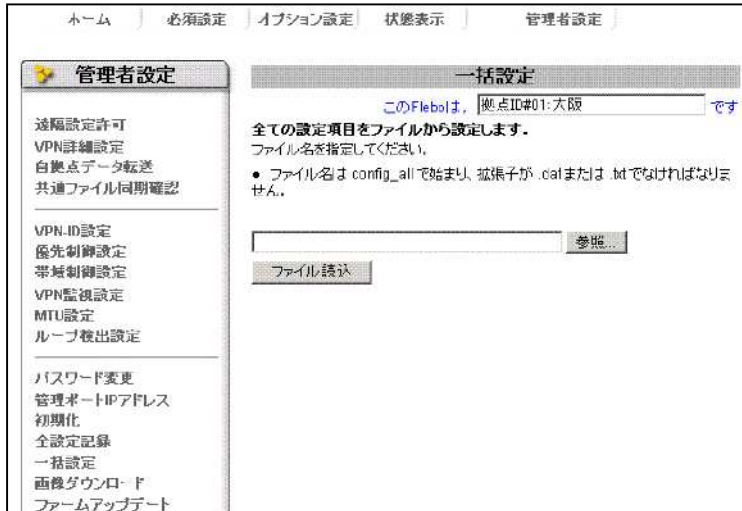
## 2.2. 一括設定の手順

一括設定は以下の手順で行ないます。

### 設定ファイルの読み込み

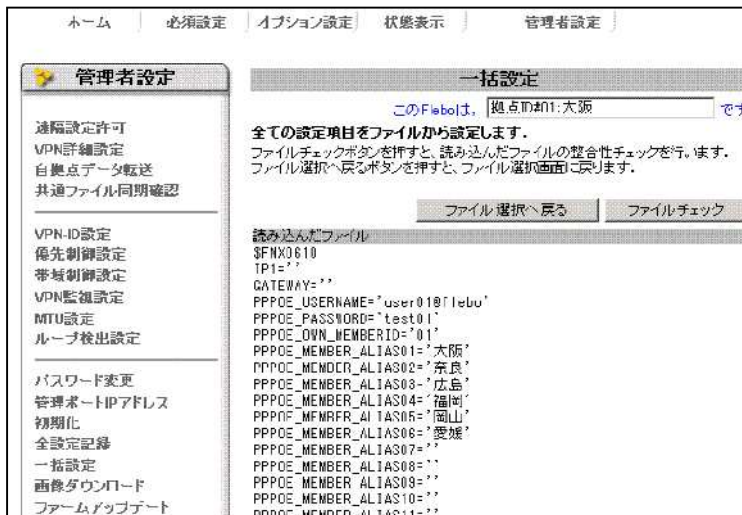
GUI画面の「管理者設定」 - 「一括設定」を選択し、一括設定ページを開きます。

以下のようなページが表示されます。



ここで[参照]ボタンを押し、PC上に保存してある設定ファイルのファイル名を指定し、つづいて[ファイル読み込み]ボタンでファイルを読み込みます。

以下のように読み込んだファイルの内容が表示されます。



読み込んだファイルの内容が表示されますので、指定したファイルに間違いがないことを確認してください。

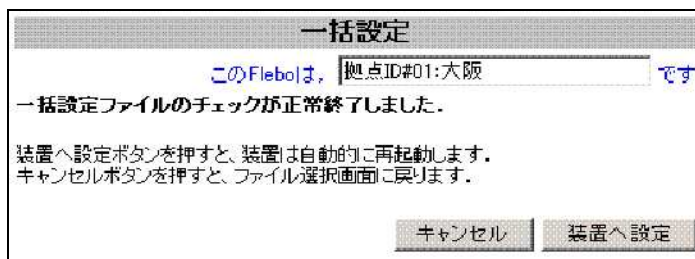
### 設定ファイルの正常性チェック

[ファイルチェック]ボタンを押すと、設定値が範囲内かどうかなど、読み込んだファイルの正常性を装置がチェックします。

## ファイルチェック結果の表示と装置への反映

### (1) ファイルチェック正常終了の場合

読み込んだファイルに問題が無く、ファイルチェックが正常終了すると、以下のような画面が表示されます。



ここで[装置へ設定]ボタンを押すと、読み込んだ設定を装置に反映させます。

[キャンセル]ボタンを押すと、今までの一括設定の作業が取り消され、ファイル選択画面へ戻ります。

(注意) [装置へ設定]ボタンを押すと、装置は自動的に再起動します。

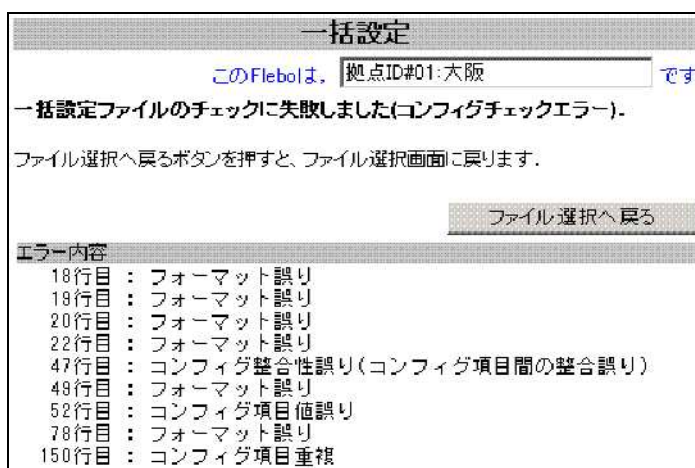
再起動が終了するまで、電源を抜かないで下さい。

またファイルチェックが完了した状態で、[キャンセル]または[装置へ設定]ボタンを押さなかった場合、SNMP や一括設定以外の GUI 画面からの各種設定変更ができません。

必ず[キャンセル]または[装置へ設定]ボタンを押し、一括設定作業を中止または完了してください。

### (2) ファイルチェックでエラーを検出した場合

ファイルチェック時に、設定ファイルに何らかの誤りを検知すると、以下のようなエラー内容を表示します。



設定ファイルを見直し、誤りを正してからもう一度読み込み、[ファイルチェック]を行なって下さい。

エラー内容の詳細については4項、各コンフィグ項目の意味や設定値の範囲など詳細は5項を参照してください。

### 3 . 設定ファイルの構造

ここでは設定ファイルの基本的な構造について説明します。

設定ファイルを編集してお使いになる場合は、本項を良く読んで内容を理解した上で行なって下さい。全設定記録で保存したファイルをメモ帳などのテキストエディタで開いてください。

以下のような内容が表示されます。

全設定記録で保存した設定ファイルの例

```

config_all.dat - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
$FNX0610
#-----
# 拠点ID=01
# 拠点名称=大阪
#-----
# MACアドレス=00:40:41:**:**:*
# シリアル番号=SW*****
# システムバージョン=V1.*.*-*****
#-----
# 取得日時=2006年10月01日 10:10
#-----
IP1='10.1.2.3'
GATEWAY='10.1.2.100'
PPPOE_USERNAME=''
PPPOE_PASSWORD='pass'
PPPOE_OWN_MEMBERID='01'
PPPOE_MEMBER_ALIAS01='大阪'
PPPOE_MEMBER_ALIAS02='奈良'
PPPOE_MEMBER_ALIAS03='広島'
PPPOE_MEMBER_ALIAS04='福岡'
PPPOE_MEMBER_ALIAS05='岡山'
PPPOE_MEMBER_ALIAS06='愛媛'
PPPOE_MEMBER_ALIAS07=''

```

#### 機種コード

- ・全設定記録をした機種を示します。
- ・一括設定する対象機種と一致している必要があります

#### ヘッダー部

- ・全設定記録を行なった装置に関する情報です。
- ・コメント行なので、復元時には意味を持ちません。

#### コンフィグ部

- ・設定値を指定します。

全設定記録したファイルの先頭には、Flebo シリーズのどの機種の設定ファイルかを示す、機種コードが必要です。機種コードには以下の種類があります。

```

$FNX0610    ....  FNX0610  Flebo    (本機種)
$FNX0620    ....  FNX0620  Flebo ひかり
$FNX0660    ....  FNX0660  Flebo オフィス

```

2行目から11行目までは、全設定記録を行なった装置に関する情報が記録されたヘッダー部です。

ヘッダー部は # で始まるコメント行で、一括設定時には意味を持たず、装置に反映されることはありません。

ヘッダー部の下の「IP1=」以下の行が、実際に設定情報を記録したコンフィグ部になっています。コンフィグ部は以下のような書式になっています。

#### コンフィグ項目='設定値'

左辺の「コンフィグ項目」と右辺の「設定値」とを = (イコール) で結ぶ形式です。



「設定値」の前後は ' (シングルコーテーション)で括られていなければなりません。

### (1) コンフィグ項目

Flebo の各種設定項目を識別するための、あらかじめ決められた文字列です。  
半角の、アルファベット(\*1)・数字および \_ (アンダースコア)で構成されています。  
アルファベットは password、password\_2 以外は全て大文字を用いています。

後述するコメント行以外の各行の先頭は、コンフィグ項目で始まります。  
行の先頭がコンフィグ項目で無い場合、エラーと判断し、一括設定ができません。  
コンフィグ項目は装置によりあらかじめ決められており、変更することはできません。  
それぞれのコンフィグ項目の意味については、5 項を参照してください。

全設定記録で保存したファイルには、装置が必要とする全てのコンフィグ項目が含まれていますが、一括設定時には、設定値を変更する必要があるコンフィグ項目だけがあれば問題ありません。  
設定ファイルにコンフィグ項目自体が含まれていない場合は、そのコンフィグ項目は装置内設定のままで変更されません。

### (2) 設定値

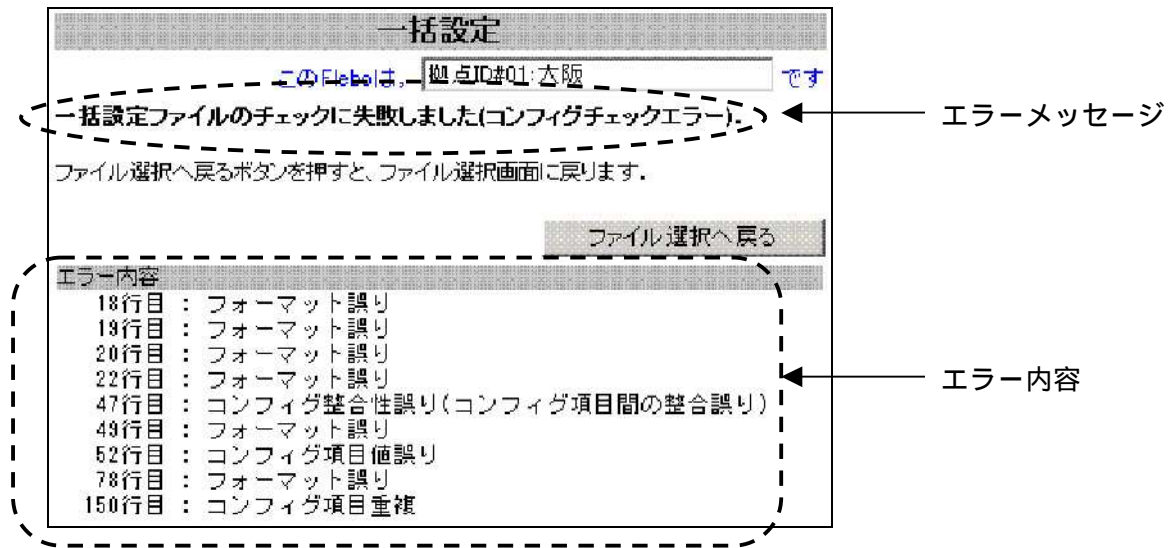
各コンフィグ項目に設定する値を指定します。コンフィグ項目により設定値は数字であったり、文字列であったりします。  
設定値はその前後を必ず ' (シングルコーテーション)で括られていなければなりません。  
また、設定値の中に上記の括りとは別の ' (シングルコーテーション)や " (ダブルコーテーション)が含まれてはなりません。  
各設定値の範囲・使用してよい文字の種類などは、5 項を参照してください。

### (3) コメント行

設定ファイル中にはコメントを記述することも可能です。  
行の先頭が # で始まる場合、その行はコメント行として認識されます。  
コメント行は # を含めて最大 510 バイト(全角文字 254 文字以下分)までで、それ以上長いコメントを記述する場合は複数行に分けて、それぞれの行の先頭に # を入れてください。  
逆に、行の先頭に # がない行は全てコンフィグ項目として解釈されるため、コンフィグ項目と一致しない文字列などが入っている場合は、読み込み時にエラーとなります。

#### 4. 一括設定時のエラー出力について

一括設定メニューでファイルを読み込み、[ファイルチェック]を行なったとき、設定ファイルに誤りがあると下記のようなエラー画面が表示されます。



エラー内容が表示されている場合はエラーを検知したコンフィグ項目のある行数と、そのエラー種別を表します。

以下の表を参照して、エラーごとに適切な対処を行なってください。

エラーメッセージ	エラー内容	対処
一括設定ファイルのチェックに失敗しました (コンフィグチェックエラー)。	フォーマット誤り	コンフィグ行の形式が正しくないことを示します。以下の原因が考えられますので設定ファイルを確認してください。 ・「コンフィグ項目」と「設定値」の間の=(イコール)がない ・「設定値」の前後が'シングルコーテーションで括られていない。 ・上記とは別の'(シングルコーテーション)や"(ダブルコーテーション)が含まれている ・「コンフィグ項目」以外の文字列が記述されている 上記のような誤りがないか、設定ファイルを確認してください。
	コンフィグ項目重複	同じコンフィグ項目が複数書かれていることを示します。2箇所同じコンフィグ項目があった場合、例え設定値が同じであってもエラーになります。エラーで指定された行を確認し、同じコンフィグ項目が他に含まれていないか確認し、1つだけになるよう設定ファイルを修正してください
	コンフィグ項目値誤り	コンフィグ項目に対する設定値に誤りがあります。例えば、 ・設定値の取り得る範囲を超えている。 ・数字で設定する項目に数字以外の文字が入っている ・文字列の長さ制限に違反している ・使ってはいけない文字を使っている 上記のような設定値を指定していないか確認してください。
	コンフィグ整合性誤り(コンフィグ項目間の整合誤り)	コンフィグ項目間の整合性に矛盾があることを示します。以下の原因が考えられます。例えば機能を無効に設定したコンフィグ項目に対するパラメータが設定されていた場合にエラーと判断します。コンフィグ項目間で矛盾の無い設定に変更してください。

エラーメッセージ	エラー内容	対処
一括設定ファイルのチェックに失敗しました(アクセスエラー)。	表示なし	設定ファイルの読み込みでエラーが発生したことを示します。ファイル選択に戻って、もう一度読み込みを行なってください。
一括設定ファイルで機種種の識別が出来ません。	表示なし	設定ファイルの先頭に機種名が記録されていない場合に表示されます。設定ファイルの先頭には必ず\$FNX0610と機種コードを書いてください。

## 5 . コンフィグ項目一覧

ここでは各コンフィグ項目の意味と、設定値について解説します。

設定ファイルを編集する際は、本項を良く読んで内容を理解してから行なって下さい。

## IP1

自装置に払い出される IP アドレスを示すコンフィグ項目です。

この項目は実際に PPPoE で接続をした時点で網から払い出された IP アドレスに上書きされます。

「\*\*」が自拠点 ID と等しい PPPOE\_MEMBER\_IPADDRESS\*\*の指定値と同じ値にする必要があります。

「\*\*」が自拠点 ID と等しい PPPOE\_MEMBER\_ENABLE\*\*も指定する場合は、'0'を指定する必要があります。

設定例： '10.1.2.3'  
初期値： '' (設定値なし)

## GATEWAY

PPPoE で接続した相手の IP アドレスを示すコンフィグ項目です。この項目は実際に PPPoE で接続した時点で網から通知されたサーバ側の IP アドレスに上書きされます。

設定例： '10.1.2.100'  
初期値： '' (設定値なし)

## PPPOE\_USERNAME

「フレッツ・グループ」「フレッツ・グループアクセス」に接続するためのユーザ ID を指定します。

・ユーザ ID は、契約書類を参照してください。

ユーザ ID は契約書類に記載のユーザ ID@グループ ID になります。

・ユーザ ID に 2 個以上の「@」の使用、および以下の文字の使用はできません。

#, ¥, \$, ' (シングルコーテーション), " (ダブルコーテーション), 半角スペース

・その他の文字についてはネットワークサービスの制限を確認してください。

設定例： 'user01@abcd.efgh'

初期値： '' (設定値なし)

【関連 GUI メニュー】 必須設定 - PPPoE 設定

## PPPOE\_PASSWORD

「フレッツ・グループ」「フレッツ・グループアクセス」に接続するためのパスワードを指定します。

・パスワードは、契約書類を参照してください。

・パスワードに、以下の文字は使用できません。

#, ¥, \$, @, ' (シングルコーテーション), " (ダブルコーテーション), 半角スペース

・その他の文字についてはネットワークサービスの制限を確認してください。

設定例： 'pass'

初期値： '' (設定値なし)

【関連 GUI メニュー】 必須設定 - PPPoE 設定

## PPPOE\_OWN\_MEMBER ID

自拠点の拠点 ID を指定します。

01 ~ 30 の範囲で数字で指定してください。

設定例： '20'

初期値： '01'

【関連 GUI メニュー】 必須設定 - 拠点設定

**PPPOE\_MEMBER\_ALIAS\*\***

拠点 ID\*\*の拠点名称を指定します。

コンフィグ項目内の\*\*には、01～30までの2桁の数字が入り接続先の拠点 ID を表しています。

本設定項目は合計で30個あります。

拠点名称は相手拠点の識別を容易にするために使用するもので、未設定でも動作に影響はありません。

本項目は PPPOE\_MEMBER\_IPADDRESS\*\* と対になる設定項目で、本項目を設定しても PPPOE\_MEMBER\_IPADDRESS\*\*に IP アドレスが指定されていない場合、「コンフィグ不整合」のエラーになります。

設定値は全角8文字、半角16文字以内で ' (シングルコーテーション) " (ダブルコーテーション) は使えません。

設定例: '大阪'

初期値: '' (設定値なし)

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - VPN 詳細設定

**PPPOE\_MEMBER\_IPADDRESS\*\***

拠点 ID\*\*の払い出し IP アドレスを指定します。

コンフィグ項目内の\*\*には、01～30までの2桁の数字が入り接続先の拠点 ID を表しています。

本設定項目は合計で30個あります。

接続しない拠点については、本項目は'' (設定値なし)にしてください。本項目に IP アドレスが設定されている場合、その対向拠点はVPN監視対象になります。

本項目は PPPOE\_MEMBER\_ALIAS\*\* と対になる設定項目ですが、本項目のみ設定して PPPOE\_MEMBER\_ALIAS\*\*に拠点名称が設定されていない場合でも、本設定は有効になります。

「\*\*」が自拠点 ID と等しいものは、IP1 と同じアドレスが記述されている必要があります。

IP アドレスの指定がない場合 ('' (設定値なし) や '0.0.0.0' 等) には、「\*\*」が等しい「PPPOE\_MEMBER\_ENABLE\*\*」のコンフィグ項目を'0'にする必要があります。

設定例: '10.1.2.3'

初期値: '' (設定値なし)

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - VPN 詳細設定

**RMT\_CFG\*\*\_ACCEPT**

拠点 ID\*\*からの設定変更を許可するかどうかを示します。

コンフィグ項目内の\*\*には、01～30までの2桁の数字が入り接続先の拠点 ID を表しています。

本設定項目は合計で30個あります。設定値は'0'または'1'で指定してください。

- ・設定変更を許可する場合は '1'
- ・設定変更を許可しない場合は'0'を設定します。

センタ拠点のように他の拠点から設定を変更されたくない拠点の場合、本設定を'0'(不許可)にしてください。

設定例: '0'

初期値: '1'

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - 遠隔設定許可

**PPPOE\_MEMBER\_ENABLE\*\***

対向拠点との VPN 監視の警報を発生するか抑止するかを指定します。

コンフィグ項目内の\*\*には、01～30 までの 2 桁の数字が入り接続先の拠点 ID を表しています。本設定項目は合計で 30 個あります。設定値は '0' または '1' で指定してください。

「\*\*」が自拠点 ID と等しいものは設定値を '0' で指定してください。

設定値が '1' の場合、「\*\*」が等しい「PPPOE\_MEMBER\_IPADDRESS\*\*」の IP アドレスの指定がされている必要があります。

- ・VPN 警報を抑止する '1'
  - ・VPN 警報を発生する '0'
- 設定例： '1' (VPN 警報を抑止する)  
初期値： '0'

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - VPN 詳細設定

**SNMP\_SET\_ENABLE**

SNMP マネージャからの SET 要求を受け付けるか否かを設定します。

- ・SET 要求を受け付ける場合 '1'
  - ・SET 要求を受け付けない場合 '0'
- 設定例： '1' (要求を受け付ける)  
初期値： '0'

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - SNMP 設定

**SNMP\_RWCOMMUNITY**

SNMP マネージャからの SET 要求フレームを受け取るかどうかを判断するためのコミュニティ名を指定します。

コミュニティ名は 32 バイト以下の半角英数記号を指定して下さい。ただし ' (シングルコーテーション) " (ダブルコーテーション) はご使用になれません。

SNMP マネージャ側が SET 要求に付与したコミュニティ名が、ここで指定したコミュニティ名と一致した場合、その SET 要求を受け取り処理します。コミュニティ名が一致しない場合は SNMP マネージャに対しエラーを返し、SET 要求は反映されません。

コミュニティ名は SNMP マネージャ側の設定と一致するように設定してください。

前記 SNMP\_SET\_ENABLE が '0' の (SET 要求を受け取らない) 場合、本設定項目は意味を持ちません。

- 設定例： 'rw\_password'  
初期値： 'private'

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - SNMP 設定

**SNMP\_GET\_ENABLE**

SNMP マネージャからの GET 要求を受け付けるか否かを設定します。

- ・GET 要求を受け付ける場合 '1'
  - ・GET 要求を受け付けない場合 '0'
- 設定例： '1' (要求を受け付ける)  
初期値： '0'

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - SNMP 設定

## SNMP\_ROCOMMUNITY

SNMP マネージャからの GET 要求フレームを受け取るかどうかを判断するためのコミュニティ名を指定します。

コミュニティ名は 32 バイト以下の半角英数記号を指定して下さい。ただし ' (シングルコーテーション) " (ダブルコーテーション) はご使用になれません。

SNMP マネージャ側が GET 要求に付与したコミュニティ名が、ここで指定したコミュニティ名と一致した場合、その GET 要求を受け取り処理します。コミュニティ名が一致しない場合は SNMP マネージャに対しエラーを返し、GET 要求は処理されません。

コミュニティ名は SNMP マネージャ側の設定と一致するように設定してください。

前記 SNMP\_GET\_ENABLE が '0' の (GET 要求を受け取らない) 場合、本設定項目は意味を持ちません。

設定例: 'ro\_password'

初期値: 'public'

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - SNMP 設定

## SNMP\_TRAP\*\_ENABLE

SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

SNMP トラップの送信先は 2 つまで登録できます。

コンフィグ項目内の\*には、1 もしくは 2 が入り、2 つのトラップ送信先を識別します。

- ・ SNMP トラップを送信を有効にする場合 '1'
- ・ SNMP トラップを送信を無効にする場合 '0' を指定します。

2 つのトラップ送信先はそれぞれ独立に有効 / 無効を設定できます。

また、トラップの種別ごとにも有効 / 無効を設定できます。

【関連項目】 SNMP\_TRAP\*\_IPADDRESS

本項目を無効で指定する場合は、SNMP\_TRAP\_IPADDRESS は '' (指定値なし) にしてください。

本項目を有効で指定する場合は、SNMP\_TRAP\_IPADDRESS に正しいトラップ送信先アドレスが指定されている必要があります。

設定例: '1' (トラップ送信有効)

初期値: '0' (トラップ送信無効)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - SNMP 設定

## SNMP\_TRAP\*\_COMMUNITY

SNMP トラップを送信する際のコミュニティ名を指定します。

2 つの SNMP トラップ送信先に対応し、本設定も 2 つまで登録できます。

コンフィグ項目内の\*には、1 もしくは 2 が入り、2 つのトラップ送信先を識別します。

コミュニティ名は 32 バイト以下の半角英数記号を指定して下さい。ただし ' (シングルコーテーション) " (ダブルコーテーション) はご使用になれません。

設定例: 'trap\_password'

初期値: 'public'

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - SNMP 設定



## SNMP\_TRAP\*\_IPADDRESS

SNMP トラップの送信先 IP アドレスを指定します。

SNMP トラップの送信先は 2 つまで登録できます。

コンフィグ項目内の\*には、1 もしくは 2 が入り、2 つのトラップ送信先を識別します。

ここで指定された IP アドレスに対し、トラップが送信されます。

2 つのトラップ送信先はそれぞれ独立に有効 / 無効を設定できます。

【関連項目】SNMP\_TRAP\*\_ENABLE

SNMP\_TRAP\*\_ENABLE 項目が無効で指定されている場合は、本項目は '' (指定値なし) にしてください。

SNMP\_TRAP\*\_ENABLE 項目が有効で指定されている場合は、本項目の IP アドレスの先頭 1 バイトが 0 以外かつ 240 未満の正しい送信先 IP アドレスを指定する必要があります。

設定例： '172.16.200.10'

初期値： '' (設定値なし)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - SNMP 設定

## SNMP\_SYSCONTACT

RFC1213(MIB-II)で定義される MIB 項目のうち、system グループの sysContact の値を指定します。

本設定項目は 255 バイト以下の半角英数記号を指定して下さい。ただし ' (シングルコーテーション) " (ダブルコーテーション) はご使用になれません。

設定例： 'admin'

初期値： 'root@'

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - SNMP 設定

## SNMP\_SYSNAME

RFC1213(MIB-II)で定義される MIB 項目のうち、system グループの sysName の値を指定します。

本設定項目は 255 バイト以下の半角英数記号を指定して下さい。ただし ' (シングルコーテーション) " (ダブルコーテーション) はご使用になれません。

設定例： 'Flebo-No1'

初期値： 'Flebo ' (設定値なし)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - SNMP 設定

## SNMP\_SYSLOCATION

RFC1213(MIB-II)で定義される MIB 項目のうち、system グループの sysLocation の値を指定します。

本設定項目は 255 バイト以下の半角英数記号を指定して下さい。ただし ' (シングルコーテーション) " (ダブルコーテーション) はご使用になれません。

設定例： '5F-WEST'

初期値： 'unknown'

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - SNMP 設定

## SNMP\_COLDSTART\_ENABLE

SNMP の ColdStart トラップを送信するか否かを指定します。

・ColdStart トラップの送信を有効にする場合 '1'

・ColdStart トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP\_TRAP1\_ENABLE もしくは SNMP\_TRAP2\_ENABLE の少なくともどちらかが '1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例： '0' (トラップ送信無効)

初期値： '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - SNMP 設定

### SNMP\_WARMSTART\_ENABLE

SNMP の WarmStart トラップを送信するか否かを指定します。

- ・ WarmStart トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・ WarmStart トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP\_TRAP1\_ENABLE もしくは SNMP\_TRAP2\_ENABLE の少なくともどちらかが '1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例: '0' (トラップ送信無効)

初期値: '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - SNMP 設定

### SNMP\_LINKUP\_WAN\_ENABLE

WAN ポートのリンクアップを通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・ トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・ トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP\_TRAP1\_ENABLE もしくは SNMP\_TRAP2\_ENABLE の少なくともどちらかが '1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例: '0' (トラップ送信無効)

初期値: '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - SNMP 設定

### SNMP\_LINKUP\_LAN\_ENABLE

LAN1 ~ 4 ポートのリンクアップを通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・ トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・ トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP\_TRAP1\_ENABLE もしくは SNMP\_TRAP2\_ENABLE の少なくともどちらかが '1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例: '0' (トラップ送信無効)

初期値: '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - SNMP 設定

### SNMP\_LINKUP\_ADMIN\_ENABLE

管理ポートのリンクアップを通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・ トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・ トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP\_TRAP1\_ENABLE もしくは SNMP\_TRAP2\_ENABLE の少なくともどちらかが '1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例: '0' (トラップ送信無効)

初期値: '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - SNMP 設定

### SNMP\_LINKDOWN\_WAN\_ENABLE

WAN ポートのリンクダウンを通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・ トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・ トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP\_TRAP1\_ENABLE もしくは SNMP\_TRAP2\_ENABLE の少なくともどちらかが '1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例: '0' (トラップ送信無効)

初期値: '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - SNMP 設定

## SNMP\_LINKDOWN\_LAN\_ENABLE

LAN1 から 4 ポートのリンクダウンを通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP\_TRAP1\_ENABLE もしくは SNMP\_TRAP2\_ENABLE の少なくともどちらかが '1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例: '0' (トラップ送信無効)

初期値: '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - SNMP 設定

## SNMP\_PPPOEESTABLISH\_ENABLE

PPPoE セッションの確立を通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP\_TRAP1\_ENABLE もしくは SNMP\_TRAP2\_ENABLE の少なくともどちらかが '1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例: '0' (トラップ送信無効)

初期値: '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - SNMP 設定

## SNMP\_PPPOEFAIL\_ENABLE

PPPoE セッションダウンを通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP\_TRAP1\_ENABLE もしくは SNMP\_TRAP2\_ENABLE の少なくともどちらかが '1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例: '0' (トラップ送信無効)

初期値: '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - SNMP 設定

## SNMP\_EQUIPMENTFAIL\_ENABLE

装置故障を検出したことを通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP\_TRAP1\_ENABLE もしくは SNMP\_TRAP2\_ENABLE の少なくともどちらかが '1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例: '0' (トラップ送信無効)

初期値: '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - SNMP 設定

## SNMP\_VPNESTABLISH\_ENABLE

対向拠点との VPN 確立を通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP\_TRAP1\_ENABLE もしくは SNMP\_TRAP2\_ENABLE の少なくともどちらかが '1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例: '0' (トラップ送信無効)

初期値: '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - SNMP 設定

### SNMP\_VPNFAIL\_ENABLE

対向拠点との VPN 障害発生を通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP\_TRAP1\_ENABLE もしくは SNMP\_TRAP2\_ENABLE の少なくともどちらかが '1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例： '0' (トラップ送信無効)

初期値： '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - SNMP 設定

### SNMP\_REMOTE\_LINKUP\_LAN\_ENABLE

対向装置の LAN ポートリンクアップを通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP\_TRAP1\_ENABLE もしくは SNMP\_TRAP2\_ENABLE の少なくともどちらかが '1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例： '0' (トラップ送信無効)

初期値： '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - SNMP 設定

### SNMP\_REMOTE\_LINKUP\_ADMIN\_ENABLE

対向装置の管理ポートリンクアップを通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP\_TRAP1\_ENABLE もしくは SNMP\_TRAP2\_ENABLE の少なくともどちらかが '1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例： '0' (トラップ送信無効)

初期値： '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - SNMP 設定

### SNMP\_REMOTE\_LINKDOWN\_LAN\_ENABLE

対向装置の LAN ポートリンクダウンを通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP\_TRAP1\_ENABLE もしくは SNMP\_TRAP2\_ENABLE の少なくともどちらかが '1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例： '0' (トラップ送信無効)

初期値： '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - SNMP 設定

### SNMP\_REMOTE\_LINKDOWN\_ADMIN\_ENABLE

対向装置の管理ポートリンクダウンを通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP\_TRAP1\_ENABLE もしくは SNMP\_TRAP2\_ENABLE の少なくともどちらかが '1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例： '0' (トラップ送信無効)

初期値： '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - SNMP 設定

## SNMP\_REMOTE\_EQUIPMENTFAIL\_ENABLE

対向装置の装置故障を通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP\_TRAP1\_ENABLE もしくは SNMP\_TRAP2\_ENABLE の少なくともどちらかが '1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例: '0' (トラップ送信無効)

初期値: '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - SNMP 設定

## WAN\_MODE

WAN ポートの通信モードを指定します。

設定値は 0~4 で指定します。

- ・自動(Auto-Negotiation) '0'
- ・100M - 全二重 '1'
- ・100M - 半二重 '2'
- ・10M - 全二重 '3'
- ・10M - 半二重 '4'

設定例: '1' (100M 全二重固定)

初期値: '0' (自動)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - イーサポート設定

## LAN1\_MODE

LAN1 ポートの通信モードを指定します。

設定値は 0~4 で指定します。

- ・自動(Auto-Negotiation) '0'
- ・100M - 全二重 '1'
- ・100M - 半二重 '2'
- ・10M - 全二重 '3'
- ・10M - 半二重 '4'

設定例: '1' (100M 全二重固定)

初期値: '0' (自動)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - イーサポート設定

## LAN2\_MODE

LAN2 ポートの通信モードを指定します。

設定値は 0~4 で指定します。

- ・自動(Auto-Negotiation) '0'
- ・100M - 全二重 '1'
- ・100M - 半二重 '2'
- ・10M - 全二重 '3'
- ・10M - 半二重 '4'

設定例: '1' (100M 全二重固定)

初期値: '0' (自動)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - イーサポート設定

## LAN3\_MODE

LAN3 ポートの通信モードを指定します。

設定値は 0~4 で指定します。

- ・ 自動(Auto-Negotiation) '0'
  - ・ 100M - 全二重 '1'
  - ・ 100M - 半二重 '2'
  - ・ 10M - 全二重 '3'
  - ・ 10M - 半二重 '4'
- 設定例： '1' (100M 全二重固定)  
初期値： '0' (自動)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - イーサポート設定

## LAN4\_MODE

LAN4 ポートの通信モードを指定します。

設定値は 0~4 で指定します。

- ・ 自動(Auto-Negotiation) '0'
  - ・ 100M - 全二重 '1'
  - ・ 100M - 半二重 '2'
  - ・ 10M - 全二重 '3'
  - ・ 10M - 半二重 '4'
- 設定例： '1' (100M 全二重固定)  
初期値： '0' (自動)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - イーサポート設定

## ADMIN\_MODE

管理ポートの通信モードを指定します。

設定値は 0~4 で指定します。

- ・ 自動(Auto-Negotiation) '0'
  - ・ 100M - 全二重 '1'
  - ・ 100M - 半二重 '2'
  - ・ 10M - 全二重 '3'
  - ・ 10M - 半二重 '4'
- 設定例： '1' (100M 全二重固定)  
初期値： '0' (自動)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - イーサポート設定

## WAN\_MDI

WAN ポートのコネクタピンアサインを指定します。

設定値は '0' または '1' で指定します。

- ・ 自動(Auto-MDIX) '0'
  - ・ ストレート(MDI)固定 '1' (HUB とストレートケーブルで接続できます)
- 設定例： '1' (MDI 固定)  
初期値： '0' (自動)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - イーサポート設定

### LAN1\_MDI

LAN ポート 1 のコネクタピンアサインを指定します。

設定値は '0' または '1' で指定します。

- ・自動 (Auto-MDIX)            '0'
  - ・クロス (MDIX) 固定        '1'    (PC とストレートケーブルで接続できます)
- 設定例:                        '1'    (MDIX 固定)  
初期値:                        '0'    (自動)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - イーサポート設定

### LAN2\_MDI

LAN ポート 2 のコネクタピンアサインを指定します。

設定値は '0' または '1' で指定します。

- ・自動 (Auto-MDIX)            '0'
  - ・クロス (MDIX) 固定        '1'    (PC とストレートケーブルで接続できます)
- 設定例:                        '1'    (MDIX 固定)  
初期値:                        '0'    (自動)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - イーサポート設定

### LAN3\_MDI

LAN ポート 3 のコネクタピンアサインを指定します。

設定値は '0' または '1' で指定します。

- ・自動 (Auto-MDIX)            '0'
  - ・クロス (MDIX) 固定        '1'    (PC とストレートケーブルで接続できます)
- 設定例:                        '1'    (MDIX 固定)  
初期値:                        '0'    (自動)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - イーサポート設定

### LAN4\_MDI

LAN ポート 4 のコネクタピンアサインを指定します。

設定値は '0' または '1' で指定します。

- ・自動 (Auto-MDIX)            '0'
  - ・クロス (MDIX) 固定        '1'    (PC とストレートケーブルで接続できます)
- 設定例:                        '1'    (MDIX 固定)  
初期値:                        '0'    (自動)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - イーサポート設定

### ADMIN\_MDI

管理ポートのコネクタピンアサインを指定します。

設定値は '0' または '1' で指定します。

- ・自動 (Auto-MDIX)            '0'
  - ・クロス (MDIX) 固定        '1'    (PC とストレートケーブルで接続できます)
- 設定例:                        '1'    (MDIX 固定)  
初期値:                        '0'    (自動)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - イーサポート設定

## OWN\_VPN\_ID

VPN を識別するための VPN-ID を指定します。

VPN-ID を設定することで、VPN 内をセグメント分けすることができます。

通常は初期値で使用します。

範囲は 0 ~ 65535 の範囲で指定してください。

設定例： '100'

初期値： '0'

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - VPN-ID 設定

## PRI\_UNTAG

VLAN タグが付与されていないフレームについて、LAN WAN 転送時に優先処理するか非優先とするかを指定します。

本体背面の「優先切り替えスイッチ」を ON にしている場合、ポート優先機能が有効になり、本設定で指定した VLAN タグによる優先制御は無効になります。

'0' または '1' で指定してください。

・優先 '1'

・非優先 '0'

設定例： '1' (優先)

初期値： '0'

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - 優先制御設定

## PRI\_BACKGROUND

VLAN タグ内の user\_priority が "1" であるフレームに対し、LAN WAN 転送時に優先処理するか非優先とするかを指定します。

本体背面の「優先切り替えスイッチ」を ON にしている場合、ポート優先機能が有効になり、本設定で指定した VLAN タグによる優先制御は無効になります。

'0' または '1' で指定してください。

・優先 '1'

・非優先 '0'

設定例： '1' (優先)

初期値： '0'

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - 優先制御設定

## PRI\_SPARE

VLAN タグ内の user\_priority が "2" であるフレームに対し、LAN WAN 転送時に優先処理するか非優先とするかを指定します。

本体背面の「優先切り替えスイッチ」を ON にしている場合、ポート優先機能が有効になり、本設定で指定した VLAN タグによる優先制御は無効になります。

'0' または '1' で指定してください。

・優先 '1'

・非優先 '0'

設定例： '1' (優先)

初期値： '0'

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - 優先制御設定



## PRI\_BESTEFFORT

VLAN タグ内の user\_priority が"0"であるフレームに対し、LAN WAN 転送時に優先処理するか非優先とするかを指定します。

本体背面の「優先切り替えスイッチ」を ON にしている場合、ポート優先機能が有効になり、本設定で指定した VLAN タグによる優先制御は無効になります。

'0'または'1'で指定してください。

- ・優先 '1'
- ・非優先 '0'
- 設定例: '1' (優先)
- 初期値: '0'

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - 優先制御設定

## PRI\_EXCELLENTEFFORT

VLAN タグ内の user\_priority が"3"であるフレームに対し、LAN WAN 転送時に優先処理するか非優先とするかを指定します。

本体背面の「優先切り替えスイッチ」を ON にしている場合、ポート優先機能が有効になり、本設定で指定した VLAN タグによる優先制御は無効になります。

'0'または'1'で指定してください。

- ・優先 '1'
- ・非優先 '0'
- 設定例: '1' (優先)
- 初期値: '0'

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - 優先制御設定

## PRI\_CONTROLLEDLOAD

VLAN タグ内の user\_priority が"4"であるフレームに対し、LAN WAN 転送時に優先処理するか非優先とするかを指定します。

本体背面の「優先切り替えスイッチ」を ON にしている場合、ポート優先機能が有効になり、本設定で指定した VLAN タグによる優先制御は無効になります。

'0'または'1'で指定してください。

- ・優先 '1'
- ・非優先 '0'
- 設定例: '0' (非優先)
- 初期値: '1'

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - 優先制御設定

## PRI\_VIDEO

VLAN タグ内の user\_priority が"5"であるフレームに対し、LAN WAN 転送時に優先処理するか非優先とするかを指定します。

本体背面の「優先切り替えスイッチ」を ON にしている場合、ポート優先機能が有効になり、本設定で指定した VLAN タグによる優先制御は無効になります。

'0'または'1'で指定してください。

- ・優先 '1'
- ・非優先 '0'
- 設定例: '0' (非優先)
- 初期値: '1'

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - 優先制御設定

## PRI\_VOICE

VLAN タグ内の user\_priority が"6"であるフレームに対し、LAN WAN 転送時に優先処理するか非優先とするかを指定します。

本体背面の「優先切り替えスイッチ」を ON にしている場合、ポート優先機能が有効になり、本設定で指定した VLAN タグによる優先制御は無効になります。

'0'または'1'で指定してください。

- ・優先 '1'
- ・非優先 '0'
- 設定例： '0' (非優先)
- 初期値： '1'

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - 優先制御設定

## PRI\_NETWORKCONTROL

VLAN タグ内の user\_priority が"7"であるフレームに対し、LAN WAN 転送時に優先処理するか非優先とするかを指定します。

本体背面の「優先切り替えスイッチ」を ON にしている場合、ポート優先機能が有効になり、本設定で指定した VLAN タグによる優先制御は無効になります。

'0'または'1'で指定してください。

- ・優先 '1'
- ・非優先 '0'
- 設定例： '0' (非優先)
- 初期値： '1'

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - 優先制御設定

## WAN\_BANDWIDTH

LAN WAN 転送時の帯域制御の値を指定します

ADSL など WAN 回線の帯域が狭いときに設定すると、優先制御機能が効果的に動作します。

設定値は半角の数字で指定してください。

指定できる値は以下の通りです。これ以外の値は設定はできません。

0.3, 0.5, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 20, 30, 40, 50, 60, 70, 80, 90, 100 (Mb/s)

設定例： '10' (10Mb/s)

初期値： '100'

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - 帯域制御

## KEEP\_ALIVE\_TIME

VPN を構成している Flabo 間で、VPN 状態を監視する間隔を指定します。

WAN 側の帯域が狭く、VPN ランプが頻繁に点灯・点滅する場合は監視間隔を大きくすると有効な場合があります。

設定値は半角の数字で指定してください。

指定できる値は以下の 3 通りです。これ以外の値は設定はできません。

2, 4, 8 (秒)

設定例： '8' (8 秒)

初期値： '2'

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - VPN 監視設定

## SELECT\_MTU

WAN ポートの MTU サイズを指定します。

通常は初期値でご使用ください。

設定値の指定は以下の 3 種類から選択してください。これ以外の文字列は設定できません。

MTU1, MTU2, MTU3

それぞれの設定値と WAN 側へ送信する IP データグラムサイズは以下の通りです

MTU1 --- 1188Byte

MTU2 --- 1364Byte

MTU3 --- 1454Byte

設定例: 'MTU1' (1188Byte)

初期値: 'MTU2' (システムバージョン V1.1.0 の場合、初期値は 'MTU3' になります)

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - MTU 設定

## LOOP\_DETECT\_ENABLE

ループ検出機能の有効・無効を指定します。

Flebo では入力フレームの送信元 MAC アドレスを監視してループを検出・遮断します。

ループ検出機能の初期値は有効になっています。

特殊なプロトコルなどでこの機能を使用しない場合は"無効"に設定してください。

・ループ検出機能を有効にする '1'

・ループ検出機能を無効にする '0'

設定例: '0' (ループ検出無効)

初期値: '1' (ループ検出有効)

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - ループ検出設定

## DMZ\_IP

管理ポートの IP アドレスを指定します。

管理用ネットワークのアドレス体系に合わせ、他と重複しない IP アドレスを設定して下さい。

設定例: '172.16.100.100'

初期値: '192.168.0.1'

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - 管理ポート IP アドレス

## DMZ\_NETMASK

管理ポートのサブネットマスクを指定します

管理用ネットワークのアドレス体系に合わせ、サブネットマスクを設定して下さい。

設定例: '255.255.0.0'

初期値: '255.255.255.0'

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - 管理ポート IP アドレス

## DMZ\_GATEWAY

管理ポートのデフォルトゲートウェイを指定します。

デフォルトゲートウェイは管理ポートと同じネットワークアドレスで無ければなりません。

お使いの管理用ネットワークに実在するルータの IP アドレスを設定して下さい。

全ての GUI 管理用端末、SNMP マネージャおよびトラップ送信先が同じサブネットに属す場合は、本項目は設定の必要がありません。

設定例: '172.16.100.1'

初期値: '0.0.0.0'

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - 管理ポート IP アドレス

## password

一般ユーザ(user)のパスワードを指定する項目です。

設定値は暗号化されていますので、本項目はエディタ等で編集しないでください。

エディタ等で編集したパスワードを一括設定した場合、Web へのログインができなくなります。誤ってパスワードを変更してしまった場合、装置底面の DIP スイッチにより、パスワードおよび管理ポートのネットワーク設定を初期化できます。詳しくはユーザマニュアルをご確認ください。

Flebo の GUI からパスワードを設定し、全設定記録した時の文字列をそのままご使用いただくか、あるいは本コンフィグ項目を項目ごと削除してから一括設定をおこなってください。コンフィグ項目を削除した場合は、パスワードは変更されません。

設定値のみ削除すると、無効なパスワードが設定され、ログインできなくなります。

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - パスワード変更

## password\_2

管理者(admin)のパスワードを指定する項目です。

設定値は暗号化されていますので、本項目はエディタ等で編集しないでください。

エディタ等で編集したパスワードを一括設定した場合、Web へのログインができなくなります。

誤ってパスワードを変更してしまった場合、装置底面の DIP スイッチにより、パスワードおよび管理ポートのネットワーク設定を初期化できます。詳しくはユーザマニュアルをご確認ください。

Flebo の GUI からパスワードを設定し、全設定記録した時の文字列をそのままご使用いただくか、あるいは本コンフィグ項目を項目ごと削除してから一括設定をおこなってください。コンフィグ項目を削除した場合は、パスワードは変更されません。

設定値のみ削除すると、無効なパスワードが設定され、ログインできなくなります。

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - パスワード変更

## コンフィグ項目 索引 (アルファベット順)

### A

ADMIN_MDI .....	22
ADMIN_MODE .....	21

### D

DMZ_GATEWAY.....	26
DMZ_IP.....	26
DMZ_NETMASK.....	26

### G

GATEWAY.....	12
--------------	----

### I

IP1 .....	12
-----------	----

### K

KEEP_ALIVE_TIME .....	25
-----------------------	----

### L

LAN1_MDI .....	22
LAN1_MODE .....	20
LAN2_MDI .....	22
LAN2_MODE .....	20
LAN3_MDI .....	22
LAN3_MODE .....	21
LAN4_MDI .....	22
LAN4_MODE .....	21
LOOP_DETECT_ENABLE.....	26

### O

OWN_VPN_ID .....	22
------------------	----

### P

password.....	27
password_2 .....	27
PPPOE_MEMBER_ALIAS** .....	13
PPPOE_MEMBER_ENABLE** .....	14
PPPOE_MEMBER_IPADDRESS** .....	13
PPPOE_OWN_MEMBERID.....	12
PPPOE_PASSWORD .....	12
PPPOE_USERNAME .....	12
PRI_BACKGROUND .....	23
PRI_BESTEFFECT .....	23
PRI_CONTROLLEDLOAD.....	24

PRI_EXCELLENTEFFORT.....	24
PRI_NETWORKCONTROL.....	25
PRI_SPARE .....	23
PRI_UNTAG .....	23
PRI_VIDEO .....	24
PRI_VOICE .....	25

### R

RMT_CFG**_ACCEPT .....	13
------------------------	----

### S

SELECT_MTU .....	26
SNMP_COLDSTART_ENABLE .....	16
SNMP_EQUIPMENTFAIL_ENABLE .....	18
SNMP_GET_ENABLE .....	14
SNMP_LINKDOWN_LAN_ENABLE.....	18
SNMP_LINKDOWN_WAN_ENABLE.....	17
SNMP_LINKUP_ADMIN_ENABLE.....	17
SNMP_LINKUP_LAN_ENABLE .....	17
SNMP_LINKUP_WAN_ENABLE .....	17
SNMP_PPPOEESTABLISH_ENABLE .....	18
SNMP_PPPOEFAIL_ENABLE .....	18
SNMP_REMOTE_EQUIPMENTFAIL_ENABLE .....	20
SNMP_REMOTE_LINKDOWN_ADMIN_ENABLE .....	19
SNMP_REMOTE_LINKDOWN_LAN_ENABLE .....	19
SNMP_REMOTE_LINKUP_ADMIN_ENABLE .....	19
SNMP_REMOTE_LINKUP_LAN_ENABLE.....	19
SNMP_ROCOMMUNITY .....	15
SNMP_RWCOMMUNITY .....	14
SNMP_SET_ENABLE .....	14
SNMP_SYSCONTACT .....	16
SNMP_SYSLOCATION .....	16
SNMP_SYSNAME.....	16
SNMP_TRAP*_COMMUNITY .....	15
SNMP_TRAP*_ENABLE.....	15
SNMP_TRAP*_IPADDRESS .....	16
SNMP_VPNESTABLISH_ENABLE.....	18
SNMP_VPNFAIL_ENABLE.....	19
SNMP_WARMSTART_ENABLE .....	17

### W

WAN_BANDWIDTH.....	25
WAN_MDI .....	21
WAN_MODE .....	20